

滋賀県立

精神医療センターたより

第38号 令和4年3月発行

- アルコール健康障害対応研修を行いました
- 第8回成人発達障害支援学会滋賀大会を終えて
- CVP(包括的暴力防止プログラム)トレーナー養成講習会を行いました
- 令和3年度 医療安全週間
- アクセス・受診案内

アルコール健康障害対応研修を行いました

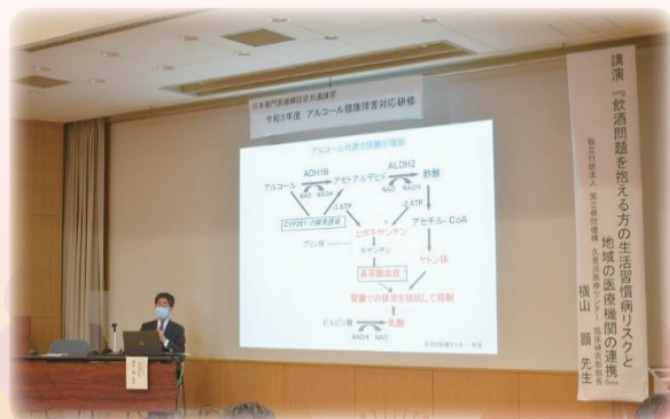
令和3年10月24日に、滋賀県立総合病院と共催で、「令和3年度アルコール健康障害対応研修」を開催し、医療・行政関係者45名の参加がありました。

前半は、久里浜医療センターの横山 顕 医師から、「飲酒問題を抱える方の生活習慣病リスクと地域の医療機関の連携」についてご講演いただきました。ご講演の中で、多量飲酒とがんが深く関係しているだけでなく、その影響の大きさには遺伝子型が関与していることや、断酒日記の活用や自助グループに参加することが、断酒継続に大きく影響を及ぼすなど、非常に興味深い内容を教えていただきました。

後半は、滋賀県立総合病院の伴 敏信 医師、当センターの濱川 浩 医師より病院連携がうまくいった事例の紹介、滋賀県断酒同友会の松本 浩二 会長より体験発表をしていただき、実際の臨床場面について聞かせていただきました。

アンケートには、「身体疾患について詳しく教えて頂き大変役にたった」「今後も生の声がきける研修を継続してもらいたい」といった参加者の思いがつつられていました。

これからも、アルコール健康障害の治療拠点機関として、情報交換や研修の機会を設けていきたいと考えています。



第8回成人発達障害支援学会滋賀大会を終えて

令和3年11月6日（土）・7日（日）に、滋賀医科大学キャンパスにおいて、第8回成人発達障害支援学会滋賀大会を開催しました。

発達障害は就学や就労等、引き続き社会生活で成人期においても課題があります。それらの課題に途切れることなく医療、保健、福祉、教育、就労機関など幅広い関連機関、関係者が協力して支援する必要があるとの認識から、大会のテーマを「多面性とその多角的支援」としました。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、現地開催とオンライン配信を合わせたハイブリッド形式で開催した結果、現地参加 98 名とオンライン 162 名、学会関係者も含め、参加者は計 335 名となりました。基調講演、シンポジウム、ワークショップは大会テーマから、行政、福祉、保健、教育はもとより、当事者、家族の話と多岐にわたる内容でした。

今回、滋賀大会を開催するにあたり、滋賀らしさを盛り込んだ内容としました。そのひとつとして、発達障害と睡眠障害について最新の医学的知見を交えた講演を行いました。

大会会場となった滋賀医科大学の周辺にはいくつかの大学があり、こうした大学に通う発達障害の学生への支援は、各大学、関係機関が力を入れています。今学会では発達障害の学生への支援、そして大学における合理的配慮についてシンポジウムで議論を深めていきました。

また、今大会の主催である当センターは滋賀県の依存症拠点病院でもあるため、発達障害と薬物依存症について各方面でご活躍されている方からのお話を大会プログラムに盛り込みました。

成人発達障害支援に関する課題はまだ多くあります。今後の大会を通じて、支援ネットワークの構築をより実現していくとともに、これから各方面での成人発達障害者への支援が発展していくことを願います。



CVPPP（包括的暴力防止プログラム） トレーナー養成講習会を行いました

CVPPPは、主に精神科医療あるいはその関連領域の施設等で起こる当事者の攻撃あるいは暴力を、適切にケアするためのプログラムです。当事者も援助者も互いに尊重され守られる存在であり、「Person-centered」であることを理念としています。

4日間の研修を修了した後は、臨床の場での活用・普及、そして当事者と援助者すべてのこの健康を守ることができる環境づくりを目指します。



安全に当事者を守るための身体介入方法も学びました。



研修日4日目には、どのようなケアができるかロールプレイをして、受講生と一緒に考えました。



考えたケアをスタッフが演じる当事者役に実践してみますが、そう簡単には聞いてもらえません…



最後はみんなで拍手をしながら、ロールプレイでの学びを共有しました。

令和3年度 医療安全週間

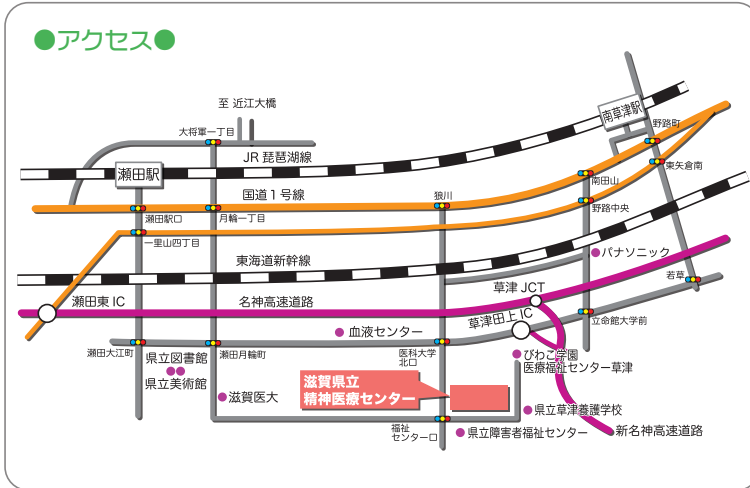


厚生労働省では、「患者の安全を守る」ことを中心とした総合的な医療安全対策を推進するため、2001年から各関係者の共同行動を「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動（パシエント・セーフティ・アクション）」と命名し、様々な取り組みを推進しています。その一環として、医療機関や医療関係団体等における取り組みの推進を図り、また、これらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として、11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めています。

当院では「**チーム医療と医療安全**」をテーマに職員が作成した作品を展示しました。



交通のご案内



JR瀬田駅から

- 1.バス（滋賀医大方面行き）
「大学病院」下車 徒歩 10分
- 2.タクシー 約15分

JR南草津駅から

- 1.バス（草津養護学校行き）
「県立総合福祉センター」下車徒歩1分
- 2.タクシー 約10分

自動車

新名神高速道路
草津・田上ICから約5分



外来診療のご案内

診療日：月～金曜日

休診日：土・日・祝日・年末年始

完全予約制です。
予約専用ダイヤルにて
予約をお取りください。

	月	火	水	木	金
精神科外来	千貫 桐山 柴原（午前） 栗本（午後・隔週）	辻本 濱川	大井 松村	柴崎 大門 松村 栗本（午後・隔週）	野口 金山
中・高生こころの専門外来		大門 野口 日指	藤井	桐山 尾関（午前）	
依存症専門外来			柴崎 千貫		大井 濱川
内科外来	浅田	浅田	浅田	浅田	浅田

※…精神科全般：アルコールおよびその他依存症、中高生の精神疾患、発達障害に関する診察、その他精神科疾患の診察を行っています。（認知症・てんかんの診察はしていません。）

※…光トポグラフィー検査については、随時受付しますので申し出ください。

※…栗本医師の診察日については予約専用ダイヤルにてお問合せください。

予約専用ダイヤル：
077-567-5023 でお受けしています。
受付時間：
平日の**9時から16時まで。**
緊急時は、代表電話：
077-567-5001 へおかけください。

ホームページ（<https://www.pref.shiga.lg.jp/seishin/>）でもご覧いただけます。

〒525-0072 滋賀県草津市笠山八丁目4番25号

滋賀県立精神医療センター Tel：077(567)5001/Fax：077(567)5033

